



江東区の未来に向けて
区民と行政を結ぶ“情報誌”

2017年
夏季特集号 vol.9

区政レポート

発行
民進党・無所属クラブ

江東区議会議員
鬼頭たつや



鬼頭たつやがめざす3つの安心プラン！

「未来の江東づくり」をめざします

安心プラン 1

子どもが安心して暮らせる地域へ

江東区の将来を担う子どもたちが安心して地域で暮らせることの出来る環境整備を目指すとともに、子どもの「生きる力」を育む拠点整備にも努力してまいります。

安心プラン 2

高齢者が安心して暮らせる地域へ

高齢者が安心して暮らせる地域を目指すために、先進的な取り組みを実践するとともに、高齢者の孤立化防止に向けた住民同士の支えあいを積極的に支援してまいります。

安心プラン 3

誰もが安心して暮らせる地域へ

地域の皆様と連携して「パトロール隊」を結成して継続的な防犯活動に取り組んでおります。また、区内全域への「防犯カメラ」設置を目指してまいります。

**直面する行政課題を
全力で!!**

活動報告

区政報告会の開催 250名が参加



4月26日に古石場文化センターにおきまして、区政報告を開催しました。区議会議員として6年目を迎え、これまでの活動報告を中心に鬼頭たつやが思い描く「未来の江東づくり」に向けた提言を皆様に報告いたしました。



INFORMATION

▶▶ 今後の議会日程 ▶▶

- ★印のついている委員会等は傍聴できません。
- 黄色で表示した委員会 は鬼頭たつやが所属している委員会です。

開催日	会議名	開催日	会議名
9月12日	★議会運営委員会	10月10日	区民環境・文教委員会
9月20日	★議会運営委員会	10月11日	議会運営委員会
9月21日	本会議(第3回定例会初日)	10月12日	清掃港湾・臨海部対策特別委員会
9月22日	本会議(継続会)	10月13日	★オリンピック・パラリンピック推進特別委員会
9月26日	平成29年度予算審査特別委員会	10月16日	防災・まちづくり対策特別委員会
9月28日～10月4日	平成28年度決算審査特別委員会	10月17日	医療・介護保険制度特別委員会
10月5日	企画総務委員会	10月19日	★議会運営委員会
10月6日	厚生・建設委員会	10月20日	本会議(最終日)

CHECK

鬼頭たつやの活動は、ホームページをご覧ください！

ホームページ
アドレス

<http://t-kitou.com/>

平成29年 議会活動(前期)

第2回
定例会

本会議での一般質問

平成29年第2回区議会定例会が6月7日から7月6日までの30日間で開催されました。

鬼頭たつやは、6月8日に開催された本会議で民進党・無所属クラブを代表して大綱3点にわたり質問を行いました。



大綱Ⅰ 水運を生かした防災力の向上について

- (1) 災害対策上の位置づけについて
 Q: 内部河川を積極的に活用し、災害時には緊急時の物資や傷病者の輸送に活用することで、本区の防災力は一層向上するものと考え災害対策上における位置づけを質問しました。
 A: 地域防災計画の中で被災者の移送や緊急輸送ネットワークとして水運を位置づけているほか、塩浜中央防災倉庫も内部河川を活用した船舶輸送を考慮した施設となっている。
- (2) 東京都との協議について
 Q: 東京都総合防災部をはじめ、関係団体が参加して「災害時における水上ルートの確保に向けた検討会」が開催されている。本区も参加しているので具体的な検討状況を質問しました。
 A: 発災後の施設点検や災害対策本部と防災船着場間の連絡手段、発災時の施設利用の手続き等の検討を進めている。また、完成を目指しているマニュアル案に基づく訓練を行う予定である。
- (3) 活用する船舶の調達について
 Q: 陸上輸送の自動車の調達は容易に確保できるが、水運のための船舶を災害時に調達することが可能なのか、容易に確保することが難しいと考え区の認識を質問しました。
 A: 災害発生時に区が救助物資等の輸送用船舶が必要となったときは、協定を締結している東京湾遊漁船業共同組合に対し優先提供を要請することができることから船舶の調達は可能である。
- (4) 緊急用船着場(リバーステーション)活用に向けた検討について
 Q: 荒川下流には9か所のリバーステーションが整備されているが、新砂にあるリバーステーションの活用をどのように検討されているのか平常時の活用も含め検討状況を質問しました。
 A: 本区も含む関係防災機関が災害時に荒川下流に配置された防災施設を利用する際の共通ルールや手続きの簡素化を定めており今後は具体的な活用を検討する。



区内の
防災船着場

大綱Ⅱ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた観光施策の推進について

- (1) 江東区観光推進プラン(後期)に掲げた取り組みに対する現状と課題について
 Q: 観光推進プランでは観光ボランティアガイドの育成やスキルアップ等に積極的に取り組むことを明確にしているが現在の状況と更なる推進を図る上での課題を質問しました。
 A: 「文化観光ガイドの会」との協力の下、様々な形態で文化財等の紹介を行い一定の評価を得ているが、ガイドの高齢化や確保面で課題を抱えており新たな展開を検討する。
- (2) 外国人への対応について
 Q: 観光推進を積極的に進める上で、外国人への対応の進め方、また公共サイン等の多言語表記など取り組むべき課題は多いことから、これまでの取り組みについて質問しました。
 A: 文化コミュニティ財団では外国人のおもてなしボランティア講座を新たに設けるなど受入れ体制の充実に取り組むとともに、統一したサインに関するガイドラインを策定する。
- (3) 商店街や商店における商業振興の取り組みについて
 Q: 訪日外国人の増加は商店街や商店にとって大きなビジネスチャンスであり、本区では先進的な取り組みを進めているが、これまでの評価と実践する上での課題を質問しました。
 A: 外国人が多く参加できる商店街イベントの開催や商店街の店舗を対象とした英会話教室を実施している。今後も案内表示等の環境整備や店舗での確実な対応が重要と考えている。



外国人来訪者への
“おもてなし”

大綱Ⅲ 木育に対する取り組みと木材を活用した公共施設整備について

- (1) 木育に対する本区の取り組みについて
 Q: 木材の本場である江東区として今後も着実に推進すべきと考え本区ならではの取り組みをどのように実践されるのか木育に対する本区の考えを質問しました。
 A: 環境フェアや区民まつりで木の遊具コーナーが人気であり、木の持つ香りや温もりが子どもたちの情操教育に効果的であり、今後も木育事業の充実に向けて取り組む考えである。
- (2) 小学校における木育の推進について
 Q: 江東区の文化、伝統の形成に貢献してきた「木の伝統」を受け継ぐ力を幼少期から学習させるべきと考えており、これまでの教育委員会での指導、更に現状認識を質問しました。
 A: 小学校3年生の社会科の学習において江東区の伝統的な産業である木材業や都の無形民俗文化財である「角乗り」を副読本に掲載し全ての学校で学習できるように取り組んでいる。
- (3) 木材を活用した公共施設の整備状況について
 Q: これから改築される学校施設の見直しに対する認識、高齢者が集う地域文化センターでも改築時期に併せ木材を多く利用した施設整備に取り組むべきと考え区の見解を質問しました。
 A: 現在計画中の改築校における木構造の推進は考えてないが耐火性能などの技術的向上を見据え検討課題とする。また地域文化センターの改築時に併せ木質化に向けた検討を進める。



一部木構造とする有明西学園

● 詳しい内容は区議会ホームページをご覧ください。 <http://www.city.koto.lg.jp/kugikai/index.html>



皆様のご意見をお聞かせください

鬼頭 たつやの
プロフィール

○昭和28年10月15日(てんびん座・B型)
 ○東京都江東区に生まれ
 数矢小、日大一中、日大一高、日本大学経済学部卒業
 深川門前仲町で鬼頭酒店(カクヤス)を経営
 ○家族構成 妻、長女、次女、長男、次男の6人家族

■ 深川仲町通り商店街 副理事長
 ■ 深川観光協会 副会長
 ■ 数矢小学校 元PTA会長
 ■ 富岡八幡宮 前神輿総代
 ■ 日本大学経済学部校友会 副会長
 ■ 日本大学江東校門会 監査



連絡先 〒135-0047 江東区富岡1-8-13 電話 090 (4951) 4540 FAX 03 (3642) 9658